

7月1日（水曜日）今年は残り6か月です。

2・3年生を対象に「規律ある態度」達成目標（詳細は県HP参照）の調査を行いました、学校生活において、これだけは必ず身につけさせたいという12の項目を自己評価するものです。9割以上達成できていれば良いと考えていますが、元気よく「あいさつ」することや相手の顔を見て「あいさつ」する項目は、残念ながら9割未満でした。明るく、いつも、先に、続ける「あいさつ」。力を入れていきます。

7月2日（木曜日）

「あいさつをすると」という教材で、初任者による研究授業（道徳）がありました。ねらいは、礼儀の大切さに気づき、誰に対しても礼儀正しく接しようとする態度を育てることです。子供たちは、担任の範読に耳を傾けていました。そして自分の考えを堂々と発表している姿を見て、明日からは勇気を持ってあいさつできる子供が増えるだろう！と心強く思いました。指導主事からは、適切な指導をしていただきました。

7月3日（金曜日）

パック詰めの給食は、本日が最後になりました。県内で食中毒があったので、さらに細心の注意を払っていただきました。メニューは塩味ピラフとエビフライ、牛乳です。普段はエビフライは出ませんが、最後ということもあって豪華な給食になりました。チームワークのよい調理員さんを始め、米や野菜を作ってくださった農家の方々、配達してくださった運送業の方々など、すべての方々に感謝です。ごちそうさまでした。

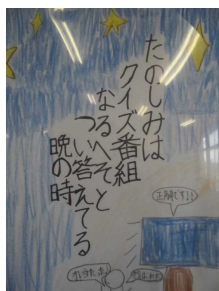
7月6日（月曜日）

いよいよトレイを使った給食が始まりました。記念すべき今日の給食は、夏野菜カレーです。調理員さんはルウから、心を込めて作ってくださいました。なすやトマト、かぼちゃ、インゲン、じゃがいもなどこの季節を代表する野菜がたっぷり入ったカレーです。給食当番は手洗いをしっかりと、配膳をしてくれました。子供たちの笑顔を数多く見ることができました。明日は七夕。明日も給食の話をしていきます。



7月7日（火曜日）

今日は七夕。1年生の掲示板には「みんなのねがいがかないますように」と題し、将来の夢や勉強のことなどが書かれていました。給食は七夕献立です。ちらし寿司と七夕汁、牛乳でした。七夕汁にはそうめんが入っています。七夕にそうめんを食べると1年間無病息災で過ごせる、そうめんが天の川に似ているなど言われています。ちなみに、7月7日は「そうめんの日」だそうです。



7月8日（水曜日）

6年生の教室に「短歌」が掲示されています。国語の授業で「たのしみは」で始まり、「時」で結ぶ短歌を作りました。子供たちの「たのしみ」がよくわかり、とてもほほえましい作品ばかりでした。「たのしみは 寝る直前の振り返り 思い出めぐり休む時」、「たのしみは 家族みんなで夏休み 飛行機乗って大分行く時」、「たのしみは 降り続く雨の止んだ後 空の青さが目に映る時」 写真の短歌は、家での私の様子と同じです。



7月9日（木曜日）

5年生で初めて学習する教科「家庭」。子供たちが楽しみにしている調理実習は、近距離で活動することになるので現在は実施していません。そこで単元を入れ替えて、学習を進めています。「ソーイングははじめの一步」という題材で、手縫いで小物作りに取り組んでいます。製作計画を作成して、フェルトを切り、針を使って丁寧に作品を作っていました。どんな作品になるのかが楽しみです。

7月10日（金曜日）

金曜日の朝。8時半から10分間は「チャレンジタイム」です。職員の打ち合わせがない日ですので、担任は教室にいます。子供たちにドリル学習やプリントなどをさせながら、必要に応じて個別指導しています。2年生の教室では、国語プリントに黙々と取り組んでいました。たった10分、されど10分です。コツコツと積み重ねることで、子供たちの力は確実についていきます。「夢の実現」のために学力は必要です。



7月13日（月曜日）

まだ、全校児童による集会等は行っていません。よって、避難訓練ができていません。しかし、火事や地震はいつ発生するかわかりません。そこで、クラスごとに避難訓練をするよう指示しました。1年生にとっては、初めてとなる避難訓練。防災頭巾のかぶり方に戸惑っている子供もいましたが、担任の話をよく聞いていました。押さない、駆けない、しゃべらない、戻らない、離れない「おかしもは」が大事です。



7月14日（火曜日）

本校では、基本的な生活習慣の育成に力を入れています。「当たり前」の事を「当たり前」にできる子供を育てています。中でもあいさつ、返事、靴そろえ、丁寧な言葉遣いを大切にしています。6年生の靴箱の様子です。かかとを靴箱の縁に合わせるよう指導していますが、見事に靴がそろえて入れられています。さすが6年生です。最上級生を手本にして、当たり前ができる子供が一人でも多くなることを期待しています。



7月15日（水曜日）

プールの南側の日当たりのよい場所に、つくし学級の農園があります。休校中は担任が世話していましたが、今は子供たちが世話をしています。畑には、ねぎやピーマン、オクラ、ミニトマト、ナスが植えられています。じゃがいもの収穫は、ほぼ終わりました。子供たちは意気揚々と、じゃがいもを職員室に売りに来てくれます。そのじゃがいもはとてもおいしくて、我が家でもいろいろな料理に使わせてもらっています。



7月16日（木曜日）

国語科の授業研究会がありました。「たずねびと」という教材で、研究主任が授業を行いました。原爆によって命を落とした「アヤ」の名前を見つけた主人公「綾」が、戦争について学んでいく内容です。子供たちは考えたことを出し合い、グループでその思いをまとめました。積極的な話し合いが多く見られ、充実した45分間になりました。協議会では、埼玉大学教育学部附属小学校の先生からご指導いただきました。



7月17日（金曜日）

1年生の教室では、音楽の授業をしていました。マーチやワルツ、サンバのリズムに合わせて、子供たちが楽しそうにリズム遊びをしながら体を動かしています。担任の動きをまねしていて、笑顔があふれていました。毎日毎日雨が降り、外遊びができない日が続く中、少しでも明るく楽しく活動できるよう工夫しています。梅雨明けまでもう少しの辛抱です。





7月20日（月曜日）

本日から外遊びのときに、遊具を使ったりボールを使ったりできるようにしました。これまでは、器具や用具の共有は感染リスクが高くなることから見合わせていましたが、手洗いの徹底を図ることにより使用許可といたしました。分散遊びは続いています。子供たちは遊びの枠が広がったことで大喜びしていました。1年生は担任に連れられて、遊具の使い方や遊び方を学んでいました。



7月21日（火曜日）

3年生になって初めての教科の「理科」。今日は、体育館で実験をしている様子を見ました。子供たちは、風で動く車を作り、風の強さと車が動く距離を調べていました。班ごとに送風機を使って、自分の車がどこまで進むのかを競っているようにも見えました。風の力の大きさを変えると、車の動く様子が変わることを理解できていました。



7月22日（水曜日）

9月26日（土曜日）の運動会に向けて、応援団はいち早く活動を始めています。家庭科室では、青組の高学年が集まっていた。5・6年生が原案を考えて、それを中学年の応援団に伝達し、さらに全学年に知らせていく計画のようです。従来のような運動会はできず、前半が135年で後半が246年といった変則的な形になります。「最後まで全力！協力！東っ子」のテーマで、運動会をみんなで盛り上げましょう。



7月27日（月曜日）あと2週間で1学期が終わります。

本校では3年生から6年生まで、算数においては「習熟度別学習」を取り入れています。3クラスを4グループに分けて、4人の教員が指導します。子供一人一人に対して、きめの細かい指導が可能になります。できていない子供をできるようにしたり、できている子供をもっと伸ばしたりするのが、習熟度別学習です。低学年は、全ての時間ではありませんが1クラス2人体制で行っています。子供の力は確実に伸びています。



7月28日（火曜日）

例年ですと梅雨明けをしている時季ですが、今年はまだです。朝から雨が降っていたり、陽が射してきたと思ったら突然降り出したり、忙しい天気です。最近感じていることは、子供たちの朝の挨拶がよくなってきたことです。休校明けは登校時に下を向いている子供が多かったのですが、今は目を合わせて元気よく挨拶ができるようになってきました。笑顔で挨拶ができる子供が、一人でも多くなることを願っています。



7月29日（水曜日）

2年生の図工は、ギュッとしたいわたしの「お友だち」という題材で学習しています。クラフト紙を柔らかくして自分の好きな形を描いたあと、2枚重ねて切り取ります。そしてボンドで袋のように貼り合わせ、その中にもんで丸めた新聞紙を詰めて形を作ります。うさぎや子ぶた、犬、ネコなど「ギュッとしたい」お友だちを、子供たちは楽しそうにつくっていました。作品は廊下に並べられており、見ごたえがあります。



7月30日（木曜日）

梅雨入りしてから今日で50日だそうです。例年ですと7月20日前後に梅雨明けになりますが、今年はいつになるのでしょうか？スッキリしない天候が続くので、体調を崩している方もいらっしゃると思います。本校の環境ボランティアさんが、運動場の西側に「大輪ひまわり」を20本育ててくださっています。だんだん大きくなってきました。抜けるような青空やまぶしい太陽、暑い夏が待ち遠しいです。



7月31日（金曜日）

2年生の教室に行った時、子供たちの作品に目が止まりました。国語の時間に「夏がいっぱい」という学習の中で、夏を感じる言葉を探して文章に表したとのこと。スイカ割りや花火、プール、かき氷など、夏の訪れを感じさせる言葉や文章がたくさんあり、さらに絵も添えてありました。とてもかわいらしい文章と絵だったので、ご紹介します。梅雨明けを楽しみにしています。

